

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第31号 平成23年9月15日

祐太の柵越えで序盤リードしたが・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	3	0	0	0	0			3
T	2	1	1	0	×			4

大渋滞が全てを狂わせた？



9/15(土) VictoriaGS最終戦、ARUYO東海戦を大泉中央公園野球場で行った。余裕を持って、球場に向かったが、一つ忘れていた事があった。そう、今日から世間は3連休で有る事を！よって、都内に入った瞬間から、非常ににぶい車の進みで、どんどんゲーム開始時間が迫っていった。結果、かなりの遅れでゲーム開始となってしまった。先攻は我がチーム、初回先頭の智が四球で出塁、後続が倒れ一死となったが、三番哲也も四球を選択し出塁、そして今日4番に入った祐太が3球目を軽く振りぬいた打球はレフト頭上を越す、3点ホームランで先制した。その裏の守備、今日の先発は政司が上がったが、先に記載したとおり、時間遅れ故、全くアップが出来ずにマウンドに上がった。その影響が早速出る。先頭をストレートの四球で出塁を許す、その後何と、4連続四球を献上し、あっさり1点を献上した。5番打者の打席の間にWPで労せず2点目を献上、後続を二飛で斬り一死、そして、次打者は、遊ゴロに打ち取る、ここで、今日ショートに入った祐太が、落ち着いてベース走者の進塁具合を確認し、結果、スタートを切った走者が、ホームを目指したので、挟殺プレーで二死、そして次打者にはこのイニング5個目の四球を献上したが、後続を中飛に打ち取り、この回をわずか2点に抑えた。翌以降の攻撃は、相手投手から四球を選択し、出塁するも、1本が出ず、最終回までするすると進んだ、守備では、まだまだエンジンが掛からない投手を何とか守備で盛り立てた。2回には2連続四球で出塁させた後、DSで進塁を許し、後続打者がきっちり中前に運び、三塁から走者を迎え入れられ同点とされたが、逆転のランナーは、8-6-2の連携プレーで得点を阻止した。そして、翌3回には、中前安打で出塁を許し、後続2人を四球で出塁させ、無死満塁の場面で中に犠飛を打たれ、逆転された。しかし、後続二人を飛球に打ち取り、この回も失点はしたものの、1点に抑えた。時間の無い中で、最終回の攻撃に最後の見せ場を作った。先頭の泉が四球で出塁、後続は、倒れたが、先頭智の打球で面白い、結果ラッキーな場面が出た。ベースランナーは、打者の打球を飛球と判断、しかし、この判断をしたのは、彼だけで、ベンチは、何故二塁に進塁せず、一塁の戻るのか？と、が結果、この変な判断がDPを防ぎ、二死一塁とまだ首の皮を残した。続く2番打者は四球を選択したが、この打者の間に二度のWPで一塁走者は三塁へ進塁し、二死1・3塁と最後のチャンスを迎えた。ここで打席に入ったのが、昨年のチームMVP@哲也、だが、我がチームでMVPを受賞すると、翌年は、素晴らしい活躍が出来ない、というジンクスがあるが、これにどっぴりはまり、今期は打撃の調子が未だ上らない。だが、ベンチは彼の一振りに期待した。しかし、2-2からの5球目の低めボールを空振りし、万事休す、ゲームセットとなった。心情は複雑だが、内容は失策0と、守備に関しては及第点のゲーム内容だった。しいてあげるなら貧打、打たなければ点は取れない。残りの試合に勝利するには、やはり安打が欲しいところである。

打線は水物だが、何とかしたいですね・・・

PS：次回からの遠征時間は、更に余裕を持ちますので・・・